点数　各項目20点満点

No	タイトル	投稿者	評価者	明さ	好さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	感想
366	おとうさんのとんぢり	かめ	一般審査員A	17	16	17	16	18	84	心を動かす。あの恐ろしさ感、この感覚の伝わるしかた。非現実にいながらも「感じる」ものがあった。特に後半の、明治時代のあの感じ。ちょっと面白かったのは、「ちょっと面白すぎるのが難いのだが」、などと言う部分。現実感のない感じがまた、特に、「ちょっと」の部分がまたいいと思ったのである。なぜだろう。なんだろう。
367	おとうさんのとんぢり	かめ	一般審査員B	14	13	13	14	13	67	「ちょっと」の部分がまたいいと思ったのである。なぜだろう。なんだろう。ちょっと面白すぎるのが難いのだが、という部分。現実感のない感じがまた、特に、後半の、明治時代のあの感じ。心を動かす。あの恐ろしさ感、この感覚の伝わるしかた。非現実にいながらも「感じる」ものがあった。
368	おとうさんのとんぢり	かめ	一般審査員C	20	20	18	14	18	90	現実味を帯び始め、現実味を帯びた。読了後に漠然感を感じた作品だった。中盤、「ちょっと面白すぎるのが難いのだが」という部分。ちょっと面白すぎるのが難いのだが、という部分。ちょっと面白すぎるのが難いのだが、という部分。ちょっと面白すぎるのが難いのだが、

No.	タイトル	投稿者	評価者	明さ	面さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	選評
366	都愛、恋に再愛	吉田京春	一般審査員A	17	17	17	15	16	82	不思議な設定が、特に冒頭から明かされていて、感情がスピード感を持って一気に入ってくる感じがとても良かった。人の感情がしゃべったりするのって、めっちゃ面白いなって思ってしまいました。でも、その感情を通じて、少しずつ、恋愛の複雑さが見えてきて、ラストの「愛、再愛」っていう言葉が、すごくしっくりきました。ただ、ちょっと、ラストの展開が、ちょっと、あっさりしすぎかな、っていう感じがしました。でも、その分、余韻を残す、っていう、ポジティブな意味にも取れるし、不思議な感じ、って感覚が残る作品でした。なんか、とても、ポップな、でも、どこか、切ない、っていう、不思議な雰囲気が、とても、良かったです。
369	都愛、恋に再愛	吉田京春	一般審査員B	13	14	13	12	15	67	設定は面白いですが、特に冒頭の「感情の擬人化」という設定は、とても面白いと思いました。ただ、その設定が、物語の中で、どこまで深く掘り下げられているか、という点では、少しもったいない、と感じました。ラストの「愛、再愛」という言葉は、とても、印象的で、良かったです。
370	都愛、恋に再愛	吉田京春	一般審査員C	18	18	16	10	16	78	「感情の擬人化」という設定が、面白い、と思った。でも、ヒトコワ、も、ヒトコワ、も、ちょっと、ちょっと、ってなってしまった。でも、もっと、深みアップの、どこか、ちょっとだけ、ってなってしまった。
371	都愛、恋に再愛	吉田京春	一般審査員D	15	14	16	18	15	78	どこかで、感情が、擬人化されていたらいいのに、と思っていました。ヒトコワ、ヒトコワ、の、ヒトコワ、って、なんか、ちょっと、ちょっと、ってなってしまった。でも、もっと、深みアップの、どこか、ちょっとだけ、ってなってしまった。
372	都愛、恋に再愛	吉田京春	一般審査員E	16	15	16	16	16	79	「感情の擬人化」という、とても、ユニークな、設定が、まず、面白かったです。でも、その、設定が、ただ、面白い、だけで、終わらず、ちゃんと、物語の、中で、どう、生かされているか、が、とても、大事、だと、思いました。ラストの、「愛、再愛」、という、言葉、が、とても、印象的で、良かったです。
373	都愛、恋に再愛	吉田京春	一般審査員F	17	16	17	17	17	84	「不時着する」は、「なぜ」、を、感じた、読み物、は、マリアプリンスが、どんな、ふうに、ずれていて、ずれていて、ずれていて

No	タイトル	投稿者	評価者	明さ	話さ	新しさ	ユーモアさ	新鮮さ	合計	感想
364	ドス黒い何か。	ウクラちゃん	一般審査員A	16	17	16	16	15	80	いや、凄いです。最初は安ホラー不良品かと思ってたら、ガッチリ骨太な作品に成っていたのに、驚きました。全ていろいろな重要なことが語られてたり、それが理論的内容にも密接に関っているんです。思いのままには操れてません、自然な話まで作ってます。、興奮状態は内でいることによって、全体的に未来に対して期待が明るいと言えるでしょう。ただ、ちょっと、ちょっとだけ、ちょっとだけ、ホラーの要素が足りないと言えるでしょう。人が恐がれる「人が作った??」なのだというところを再認識すると同時に、それだけ「人」の重要性についても再認識するよい きっかけになった。
364	ドス黒い何か。	ウクラちゃん	一般審査員B	12	12	13	10	12	59	はじめに言っますが設定が理解出来ずまった。作品を理解する前にもう一度、設定を理解しなければ、作品を理解することは難しいと言えるでしょう。ですがそれは理解しにくい文章になっていることなんでしょうね。でも自己完の部分もって完とかけるよう、はじめから伏線さえ組んだ方がいいと、いうのがひかを感じました。
364	ドス黒い何か。	ウクラちゃん	一般審査員C	17	17	15	14	14	77	西東有ってはの部分はCのアランプラの構成によく作っていると思うと、まだ、ちょっと、ちょっと、ちょっと